

## 知立駅周辺整備について

民友クラブ 神谷文明議員



**問** 鉄道会社は沿線に大規模な宅地を開発し、通勤や通学客増につなげる従来型のビジネスモデルを変更し、駅周辺で商業開発等を行い、長期的に地域に関わる姿勢を強めているが、知立駅周辺で互いの計画がかぶらないように調整をしているのか。

**答** 市から鉄道会社に呼びかけているが、現在、具体的な協議に至っていない。調整して互いにウィンウィンの関係になれるようにしていきたい。

**問** 知立駅周辺の駐輪場をどのように整備していく計画なのか。

**答** 約3千台分を高架下利用して平面型で整備し、すべて有料で運営するように考えている。

**問** 以前「保育ステーション」設置を提案したが、西新地再開発事業の案にある認可保育園のスペースがそれに当たるのか。



結んだが、もう一步進めて西新地再開発ビルに「サテライトキヤンパス」を設置してはどうか。

**答** 駅周辺に若い人の増加、賑わいの創出、商店街の活性化等の効果がある。しかし、誘致に多額の費用がかかるため費用対効果を考え慎重に検討したい。

## 交通事故のないまち 町内会への課題について

立志会 永田起也議員



**問** 全国各地で悲惨な交通事故により死者が出ているとの報道がされている。当市は第10次知立市交通安全計画を基に取り組んでいるが、物損事故を含めると過去5年間発生件数は横ばい。一日あたり約7件市内で交通事故が発生している状況で更なる対策を求めます。



**答** 高齢者による交通事故が問題視されているが、当市は若い年齢が多い状況。啓発活動を含め地域協力の下で推進していく。

**問** 市内には31町内会の地域コミュニティがあり、その中に老人会・子ども会等存在し、防災活動やスポーツ・生涯学習など住民同士が互いに助け合い、協力し合って住みよい地域づくりに向け取り組みが進められている。近所付き合いの多様化により町内会の加入率、役員担い手不足に悩まされている。市行政としてサポートを強化すべき。

**答** 隣近所の付き合いの希薄化により町内会加入率の減少傾向は認識している。それにより担い手不足、役員選任に対して苦慮していることは聞いている。加入促進へのPRや公民館建設等補助や町内会事務員設置補助をしているが、今後とも事務的なものも含め、区長をはじめ役員員の負担を軽減することに努めていきたい。

## 当面の諸課題について 県議選対応について

日本共産党知立市議員 佐藤修議員



**問** 税滞納は生活苦のシグナルと受け止め、親身な納税相談と分納対応が必要。生活困窮者には生活保護等の支援をすべき。

**答** 一括納付が原則だが、状況に応じて分納を認める場合もあるので、市役所に来て相談してもらいたい。



知らない。公益的施設は子育て支援施設を検討中だが、建設の是非、施設内容の是非を含め、市民の意見を汲みつくすべきでは。

**答** 何が必要なのか、まだまだ議論の余地がある。機会をみて聞いていきたい。

**問** 知立駅の高架下に自転車駐輪場を検討しているが、鉄道事業者にも設置を要求すべきでは。

**答** 以前、鉄道業者が持っていた台数分は確保してもらいたい。時期をみて言っていきたい。

**問** 市長は県議選で新人の選对本部長になり応援した。市民の中から、「市長は公平であるべき」等の疑問が広がった。どう受止めたのか。

**答** 回答するのは難しい。公約を見て支援した。

**問** 市民は市長と県議が力を合わせ知立のために頑張ってくれたいと願っているのでは。

**答** 県への要望で県議がいると効果がある時は同行を願いたい。

## 子どもたちを育む こころ豊かなまちづくりを

公明党 杉山千春議員



**問** 国の中央教育審議会では、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策」「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン」を示した。働き方については、シフト制勤務や変形労働時間制、また教科担任制などの導入を検討している自治体もあるが知立市ではどのような考え方か。

**答** 小・中学校とも教員の在校時間は昨年より減少し、成果がでている。現在、制度の導入の考えはない。教員の数、教科、時間割等研究の必要がある。

**問** いじめ防止対策として、保護者に「いじめの定義」の周知をどのようにしているか。また、掌握しているいじめ件数とその対応は。

**答** 中学校への入学説明会時や4月のPTA総会などで実施。昨年度、いじめの認知件数は市内21件。ひとりひとり子どもに

寄り添った対応に徹している。

**問** 道路交通環境整備について通学路の危険箇所点検等で安全性が確保されつつあるが、歩道を走る自転車も多く、段差解消や自転車事故に対する保険加入促進も必要では。

**答** 保険加入の促進等の条例制定は愛知県へ要望している。



知立小学校(中町)

## 大雨時における子どもたちの安全体制について

立志会 山口義勝議員



**問** 子どもたちの大雨時の対応は。

**答** 園児については、逢妻川等の増水に伴う緊急対応マニュアルにより対応。児童・生徒については、年度当初に異常気象による対応が通知してあるので、保護者の判断により対応。

**問** 児童・生徒については、大雨による対応の取り決めがないが、安全を確保するために早急に検討を。

**答** 各学区により環境がさまざまであるため、一律な取り決めはしづらいが、児童・生徒の安全を第一に考える必要がある。

**問** 気象庁は、「大雨・洪水警戒レベル」を5段階表示で運用を始めたが、本市はどのような対応をするのか。

**答** 5段階表示の警戒レベルを市民に理解してもらえよう周知し、運用したい。また、全職員で情報を共有して初動体制を整えたい。

**問** 大雨時に逢妻川流域で知立



逢妻川 (西町)

市内において、水位が上昇する原因・要因は。

**答** 県に調査を依頼しているが、明確な回答はない。現在、管理者である県により、洪水を安全に流下させるために、河道拡幅、河床堀削等を進めている。

## 企業立地推進と地域創生障がい者雇用への取り組み

正和会 川合正彦議員



**問** 人口減少、高齢化の進展による課題克服、地域創生のため、働く場の創出は重要な課題。企業立地推進課の新設は企業誘致の牽引力。設置された経緯と目的を明確化し計画的な推進を。

**答** 近年の企業の事業拡大、機能集約等ニーズの高まりに対応。関係する部局を集約した専門課として設置に至った。需要への迅速な対応、新たな雇用創出、税収拡大等を目的とする。

**問** 企業ニーズの現状把握、近隣の状況調査と推進員の設置、優遇措置等具体策の策定を。

**答** 企業アンケートを実施予定。近隣市は訪問調査中。推進員の設置、優遇措置等は今後の推進策の中で検討し決定していく。

**問** 知立駅周辺へは、都市機能を活かすオフィス系企業誘致を。

**答** 西新地地区、駅南地区などは都市型企業誘致が有効であり、企業の需要を調査し検討する。

**問** 市内企業の障がい者法定雇用率達成状況は。今後は企業や

関係団体との連携を強化し、障がい者雇用への理解を深め市内での雇用、定着、自立の推進を。

**答** 法定雇用率達成企業は43.4%。今後企業の意識調査や商工会を通じ企業とのマッチング、奨励制度の周知、職場体験、ハローワークの出前講座等により、障がい者の一般就労を促進する。

